

村研年報「村落社会研究」

第二集の御案内

昨年一〇月に発行された年報「村落社会研究」第二集をまだお買
いになれないでいる方へ、御案内をいたします。内容は左の通りで
すので、直接、編輯房（東京都文京区本郷三丁目六一〇、振替東
京八七八二）へお申し込み下さい。定価は一四〇〇円ですが、会員
の由をお申しさえになれば、送料共で一三〇〇円です。なお、お近
かくのみなさまへの宣伝方もよろしく願ひいたします。

目次

族団と「家」——明治民法施行前における親族の組織を中心とし
て—— 神谷 力

昭和戦前期の農家の経営と部落について——北海道虻田郡留寿都

村大西家文書を中心に—— 黒崎 八洲次郎

企業進出に伴う住民の対応と村落の変化 柿崎 京一

「就業構造の近代化」と農家労働力市場の変貌 皆川 勇一

「「むら」の解体」（共通課題）の論点をめぐって

I 島崎 稔
II 中野 卓

遠賀川改修工事関係区有文書——明治四三〜四四年

原 宏

研究動向

史学・経済史学

島田 隆

経 済 学
社 会 学
法 社 会 学
民 俗 学

村落社会研究会年報総目次（時潮社版）

常 盤 政 治
川 越 淳 二
畑 穰・平松 紘
宮 本 常 一